



高梁市長
近藤隆則

平成31年の新春を迎えるにあたり謹んでご挨拶申し上げます。始めに、平成30年7月豪雨で被災された皆さまに対し心からお見舞い申し上げます。また、発災から今日まで、多くの皆さまから温かいお力添えをいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

本市におきましては、皆さまのご支援・ご協力で支えられながら、被災された皆さまの生活再建を最優先に、一日も早い復旧・復興に向けて全力で取り組んでまいりました。

3月までには、復旧・復興への道標となる「高梁市復興計画」を策定することとしています。復旧期・復興期・発展期を想定

した復興計画の取り組みを加速させるとともに、国や県との連携をより一層強化し、被災された皆さまの一日も早い生活再建に向けて引き続き取り組んでまいります。

さて、平成最後となる本年は己亥(つちのとい)の年であり、守りに徹した方がよいと言われている。しつかりと地に足を付け、次年度以降も見据え、着実に歩みを進めていきたいと思

災害の影響による厳しい状況下ではありますが、「ひと・まち・自然にやさしい高梁」の実現に向けて、「人づくり」を最重要施策として推進しています。来年に開学30周年を迎える吉備国際

大学とも連携しながら、就学前から高等学校までの学校教育、家庭教育や社会教育を充実させ、「教育のまち」をさらに推進してまいります。

また、3月には「高梁市養護老人ホーム成羽長寿園・高梁市立成羽こども園」を開園します。施設利用者やその家族、地域の皆さまをはじめ子どもからお年寄りまで幅広い世代が集うこの施設により、世代間の交流や地域活動のさらなる広がりを期待しています。

新しい年が市民の皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますことを心から祈念申し上げます。まして、新年のご挨拶いたします。

2019年

年頭のごあいさつ



高梁市議会議長
小林重樹

年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。日ごろから市議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

始めに、昨年の平成30年7月豪雨により被災をされた皆さまに衷心よりお見舞いを申し上げます。また、さまざまな形でご支援をいただいた多くの皆さまに厚く御礼申し上げます。

高梁市は、平成30年7月豪雨により46年ぶりの甚大な被害に見舞われました。復旧・復興については、市役所内に復興対策課が設置され、被災された皆さまの復興に向けての相談や支援を積極的に行っているところであり、復興計画についても、市民

の皆さまのさまざまな意見を踏まえ、平成31年3月末までには策定される予定であります。市議会としましては、市民の皆さまの一日も早い復旧・復興を最優先に、執行部とともに積極的に取り組むたいと考えています。

さて、本年は平成から新しい時代へと移行する節目の年でもあります。社会がグローバル化し、国内外の情勢も大きく変化

する中、地球規模の環境変化による自然災害などへの対応、少子高齢化などの人口減少時代への対策など、地域の活力を次代に向けてどう維持していくかが最優先に問われており、新総合計画に掲げる都市像を達成するため、地方創生に掲げる目標も

含め、着実に各施策を実行していく必要があります。

市議会としましては、市民の声を諸計画や予算に反映させるために施策の監視機能を高めるとともに、市民に開かれた議会として、常に市民にとって何が最善かという視点を持ち、政策提案もしながら議論を尽くす所存でありますので、市民の皆さまには一層のご協力ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が市民の皆さまにとって平穏で良い年であるとともに、被災された皆さまが一日でも早く普段の生活を取り戻されることを心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

写真：川面町大倉地区からの初日の出(1月1日)